



[氏名] 庄司 涼子  
[出身都道府県] 千葉県  
[卒業期] 26期（平成15年度卒）



## もし、初期派遣を前に不安を感じることもあるなら・・・

長い学生生活と過酷な研修期間を終え、晴れて地域に派遣される日を心待ちにする一方、一抹の不安がよぎるのは致し方ないことかもしれません。初期派遣にあたり不安を感じる若い先生に、アドバイスとなるような体験談を書いてほしいとの依頼を受け、どんな不安があったかな、と遠い記憶をたどってみました。

初期派遣の不安といえば、「与えられた仕事をこなせるか」「知らない土地にうまく溶け込めるか」というような漠然としたものだったように思います。

私の初期派遣先は千葉県君津地区にある36床の病院（内科常勤3名）でした。アクアラインを使えば1時間ほどで東京にアクセスできるこの地域は、僻地とはいえません。商業的にも恵まれており、地域住民はこの地域の医師が不足していると



は思っていないのです。しかし、この地域の人口に対する医師の数は、全国平均の半分ぐらいしかありません。目には見えづらい医師不足地域の医療をいかに支えていくかが、初期派遣の課題でした。

自治医大卒業生の派遣先としてすこしかわっているでしょう？

さて、皆さんの派遣先はどんなところでしょうか。初期派遣の仕事内容にもし不安を感じるようなら、まずは自分が派遣される理由をよく考えてみることをお勧めします。そうすれば地域から求められていることも、取り組むべき課題も見えてきます。あとは具体的に対策を練るだけ。漠然とした不安は解消されるのではないのでしょうか。

具体的な課題は地域に派遣されてから経験を通じて見つけていっても十分だと思えますが、予め県人会などでその地域を知る先生のお話を聞いてみるといいと思います。私も派遣地域が決まった時に、派遣先に務める先輩から概要を聞いておくことができ幸運だったと思っています。学年が離れていると聞きづらく感じることもあるかもしれませんが、そこは後輩の特権を大いに活用すべきだと思います。

知らない土地に引っ越し、新しい人間関係の中で生活を始めるとき、うまくなじめるか不安になるのも、実に自然なことだと思います。



私はあまり人見知りをしないタイプなのですが、地域に来て何年もたってから派遣先の先輩に「どんな性格の先生が来るのか、けっこう心配していた。歓迎会の時のスタッフと先生のやり取りを見たときに、ああ大丈夫だと安心できた」と思い出話をされたことがあります。

どうやら、迎え入れる側のほうが、「今度来る先生は気さくに相談できる人だろうか」、「地域のことを思ってくれる先生だろうか」と、やきもきしているようです。もし、地域でよそよそしく感じたら、期待と不安から遠慮がちになっているだけかもしれません。皆さんのほうから話しかけるようにすれば、案外すんなりと懐に入れるかもしれませんよ。

最後に、私の初期派遣地は漁師の多いところでした。埼玉育ちの私には見たことのない魚が町なかで売られており、そういう魚をあえて料理してみるのが週末の楽しみでした。ぜひ、地域ならではの環境も楽しんでくださいね。